

登山学校レポート（第2回講習）地図読み

日程及び場所：6月12日（日）脊振山系（小爪峠周回）

氏名（田中敦典）・所属会（福岡勤労者山岳会）

コースタイム（A班）

②8：30、③8：50、④9：40、⑤10：00、⑥10：55、⑦12：05、
⑧12：45、⑨13：10、林道14：30

1. 講習前の準備

地図の作成については、事前に作成資料を送って頂いていたが、その後、他の受講生の方が作成した歩行線の入った地図を送って頂いたのを活用させてもらった。事前に地図に高度の記入はしたが、尾根や沢・谷の記入をしていなかったのを見て、講習会当日、他の受講生がきれいに尾根や沢・谷を記入しているのを見て、自分の事前の作図が全く不十分だったことを知らされた。不必要な物や食べ物を持参しないように注意していたが、蒸し暑く汗をかきそうだったので、水は1.5L程持参し十分であった。

2. 行動中

行動中は、1時間ごとに役割を交代しながらそれぞれの在り方を学ぶことができた。班のメンバーに、リーダーとして危険な箇所での他のメンバーへの声掛け等の必要性や地図の正確な読み方を教えて頂き、たくさん助けていただいた。登り始めは若干早いペースで進み、途中までは順調に行っていたが、ポイント⑨からの谷沿いのルートを見つけ切れず、尾根をヤブこぎしたために時間がかかってしまった。また、休憩や水分補給については、その都度になってしまっていたので、最初に30分に1回とか1時間に1回とかある程度決めていても良かったのかもしれない。

3. 読図

今回のメインテーマであった地図読みについて初めて学ぶことができるとても有意義な講習となった。一つは、コンパスの使い方を知ったこと。登山用コンパスは若いころから持っていたが、方角を知るためにしか使えていなかった。今回の講習のために事前にコンパスの使い方を学んで、本番では実際に位置を合わせ方向を確認しながら歩くことができた。二つは、尾根や沢を把握し、地図と地形の照合をきちんとすれば自分が進みたい方向に行けることを実感できたこと。実際、ポイント⑨からの谷道を見つけられず、地図とコンパスを使って尾根道をヤブこぎしたが、ちゃんと目的地に到着することができた。これは貴重な経験になった。講師の方々が我慢強く見守ってくださったことに感謝したい。

これまでは、「迷ったらわかるところまで戻る」を基本としていた。いや、これからもこれが基本だが、エスケープやレスキューで道なき道に行く必要に迫られることがあるかもしれない。そんな時に、地図読みとコンパスの使い方を知っていれば、必要な方向に進むことができることが分かった。今後も、山行中には地図とコンパスを使い、尾根や沢等の地形を常時把握する習慣を身につけ、さらにナビゲーション力を強化したい。